



岡崎市くらしの相談担当者

原のりひこ
公式サイト



原のりひこ

担当者レポートNo15

発行日：2024年7月30日
発行所：トヨタ自動車労働組合
発行人：近藤 大輔
編集人：原 紀彦
印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

くらしの相談活動

【要望内容】 岡崎足助線（岩津与仁木）は見通しの良いストレート道路のため速度がでやすくなり、八反田付近の交差する市道との出会い頭での接触事故が発生している。

また、仁木八反田線への流入が多くなり、その先にある団地内の交差点で歩行者が横断する際、車両と接触ヒヤリが発生している。以上のことから交差点付近における安全対策をお願いする。



【回答】 ①岡崎足助線と八反田付近の交差点については、以前から信号機設置の要望を提出していましたが、車両の通行量が規定に達していない点などから設置不可となりました。今後は市道の狭窄による速度抑制や法定速度の速度規制など安全対策を進めていきます。

②団地内の交差点については、地元と警察と協議をした結果、横断歩道設置（R6.8末までに設置予定）および視覚効果による一時停止の促進対策を進めていきます。

その他 議会・地域貢献・要望・研鑽等 さまざまな活動を行っています

●三河中地域協議会政策推進フォーラム
【岡崎市の取組みを報告】

●岡崎市議会視察
【こども家庭庁を訪問し取組みについて意見交換】

●グリーンスローモビリティ実証運行
【出発式に出席】



岡崎市議会 6月定例会 防災について質問!

被災地支援



被災地に派遣されている職員は、大変厳しい環境下での活動を強いられています。

自身の健康管理は、「健康チェックリスト」を活用し、身体の不調が感じられた場合には保健師に相談するよう案内されています。



Q. 「健康チェックリスト」の周知は市の掲示板に展開のみ。全員に確実に行き渡っているか疑問を感じるが、見解は?

A. 今後は所属長宛通知の発出により、派遣元の所属長から職員にチェックリストが確実に渡り、心身の健康状態に不安がある場合は、保健師への相談に確実につながるよう対応していく。



— 防災特集 —

ファーストミッション ボックスってなに?



ファーストミッションボックス

(※以下、略してFMB)

Q. 内容と全市民への周知について伺う。

A. 災害発生後の初動期において、避難された住人の誰でも確実に避難所を開設し、運営するための手引きと、必要最低限の資機材と一緒に保管しているものがFMB。

周知については、市内47の小学校を対象に、この6月から順次設置を進めて行く。また、FMBを活用した避難所開設訓練の実施を促していく。

幼君子育て世帯支援

幼児の保護者等の経済的負担軽減を図るため、対象幼児の保護者等に商品券を支給。



幼児 1人あたり 5千円

平成30年4月2日～令和3年4月1日生の幼児保護者

おかざき農業応援

第三弾

プロジェクト

国産米の消費を促し、消費拡大・地消地産を推進するとともに、消費下支えを通じた生活者支援を実施。



全市民に440円×2枚を配付